

2021.9.1 発行

あしん

いする

んじる

のしむ

第7号



発行元：宗像市福祉ボランティア活動連絡協議会

TEL：0940-37-4100(宗像市ボランティアセンター)

第37回 ボラ連総会

令和3年の総会は4月17日(土)に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になりました。

総会資料は例年通り全会員に配付しましたが、議案につきましてはグループ代表に書面で表決していただきました。表決の結果、議案1～議案6のすべての議案は全グループの賛成をもって可決しました。

なお、その時提出された各グループの活動報告書を裏面に掲載しております。

今期「ボラ連」役員紹介

イラスト：大和泰河

「ボラ連はホントに必要？」そんな声も聞こえる中、果敢に役を引き受けた私たち。コロナによる活動変容にも負けず、福祉のまちづくりに微力ながら貢献し、一団体ではできない研修や提案をしていきたいと思えます。

一人ではできないことを団体で、団体ではできないことを協議会で、とシンプルに考え協力し支えあいましょう！楽しく活動ができるようにみんなの知恵を持ち寄りましょう！そしてなにより自分が楽しいと思える時間を大切にしましょう！

みなさん、よろしくお願ひします。(会長 水島直子)



事務局長：跡部俊郎
(シュワッチ)



会長：水島直子
(にじいろぼけっと)



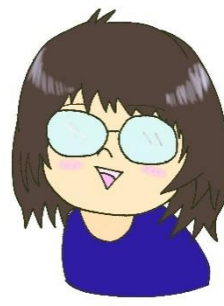
会計：石田敦子
(ひばり)



関本健一
(識見者)



坂梨千尋
(おもちゃライブラリー)



大和ちえ
(アイフレンド)



後藤真保
(社会福祉協議会)

グループ活動報告書

※2月1日現在

No.	グループ名	会員数	令和2年度活動(主な活動結果)	令和3年度活動抱負
1	手話サークル シュワッチ	35	新型コロナウイルス禍で活動自粛を余儀なくされ、モチベーションを保つのに苦労した一年間でした。福祉教育はリモート授業での対応など工夫して行うことができました。	新たな生活習慣のなか、安心して手話ができる環境づくりが課題です。技術向上のみならず、皆の笑顔が戻る活動ができればと思っています。
2	点訳ボランティア 「てんとうむし」	11	コロナ禍の中、メイトム内活動は長らくの間無くなりましたが、学校依頼の点字体験授業は減少したものの行いました。「音の出る信号機」募金活動は、多数協力を得ました。	コロナの終息を願い、福祉授業、イベントの平常活動を望みます。年齢にかかわらず、点字体験の場を広げ、視覚障がい者の理解へと結び「音の出る信号機」募金活動と繋げたい。
3	対面朗読ボランティア ひばり	7	新型コロナウイルス禍のため5月まで中止となりましたが、スマホのスピーカーホンを利用するなどの工夫により3人の方の支援を再開することができました。	新型コロナウイルス禍が一日も早く収束し、従来通りの活動ができることを願います。未再開の活動については、施設内の活動なので未だ予定がたちません。
4	ガイドボランティア アイフレンド	3	毎週定期的に視覚障害者の方との外出支援活動、市内小学4年生福祉学習への協力、他ボランティア団体と協力して視覚障害者の方々を慰労する交流会、等の活動をしました。	メンバー増員を目指したボランティア養成講座がコロナで中止になってしまいましたが、引き続き視覚に不自由な方の要望にお応えすべく、安全で楽しい活動をしていきたいです。
5	人形劇 こやぎ座	5	コロナの流行の為すべての公演が中止となった。今は今後の公演の為に作品を作っている。	見通しができないが作品を製作していくつもりです。
6	福岡県青年の会 宗像ブロック	11	新型コロナウイルス感染拡大の為、自粛。	新型コロナウイルス感染の状況を踏まえ、慎重に活動を再開していきたい。
7	宗像市スポーツ ボランティアクラブ	2	余り活動は出来なかった。	休会します。
8	ねこのて	3	施設使用の条件が厳しい事と教室に参加する方が高齢のため、活動を自粛致しました。	籠作り教室をこれまで通り続けてゆきたいと思います。ミニ新聞も発行いたします。高齢者に役立つ内容になるよう学習します。
9	ひよつとこ楽座 アンディアーモ	10	今年はコロナウイルスの関連で老人ホーム及び敬老会での慰問演奏は殆ど中止に追いやられ、1月と2月に1回の演奏だけとなり、残念ながら寂しい限りであった。	本年度は春先から順次、コロナの影響をかわしつつ、月に2回以上の敬老会等の慰問演奏を是非実現させたい。備えての準備練習は万全を期していきたい。
10	宗像おもちゃ ライブラリー	18	コロナ禍において、6月から開館するが、3密にならないようにスタッフの人数も減らし、おもちゃの貸し出しのみの活動を行う。体温測定、消毒も併せて行っています。	スタッフの健康を考えつつ、子ども達が遊べるように工夫し、活動を続けていきたい。
11	福祉ボランティア にじいろほけつと	13	カフェ活動のできない一年でした。個人宅での傾聴依頼が何件かあり、2件は活動につながりました。	居場所づくりが再開できたらいいですね。特に大島での高齢者の状況を学ぶ研修とさらに大島でのカフェ開催を実現させたいと思います。